

**認定社会福祉士認証・認定機構
2015年度 認定社会福祉士特別研修
(実施機関: 日本社会福祉士会)
参加者募集要項**

〈東京会場〉

1. 趣旨

日本社会福祉士会は認定社会福祉士認証・認定機構の指定を受け特別研修を開催することになりました。特別研修は、認定社会福祉士の認定申請に必要な要件の一つである、研修履修に関する経過措置対応として開催します。

認定社会福祉士になるためには次の要件を満たすことが必要です。

- (1) 社会福祉士資格を有すること
- (2) 日本におけるソーシャルワーカーの職能団体で倫理綱領と懲戒の権能を持っている団体の正会員であること
- (3) 相談援助実務経験が5年以上あること
- (4) 別に例示する実務経験があること
- (5) 認められた機関での研修を受講していること（研修受講20単位及びスーパービジョン実績10単位）

今回の経過措置は、過去の研修履歴を評価し、特別研修を修了することで、「(5) 認められた機関での研修を受講していること」とみなすものです。したがって、今回の経過措置が適用され、上記要件の(1)から(5)までを満たした者は認定社会福祉士の認定申請ができます。

過去の研修履歴とは、ソーシャルワーカーの職能団体が行う生涯研修において180時間(12単位)以上の研修履歴が必要です。認証・認定機構では日本社会福祉士会の生涯研修と日本医療社会福祉協会の生涯研修を対象として認めています。

なお、特別研修の修了をもって認定社会福祉士になれるわけではありません。認定社会福祉士になるためには、別途、認定申請が必要です。

2. 特別研修の目的

特別研修は認定社会福祉士認定のための経過措置対応として、修了者には認定社会福祉士と同等の実践力があることを担保することを目的としています。認定社会福祉士認定の本来の要件・水準と同等以上であること、すなわち認定社会福祉士の要件である30単位を取得した者相当以上であり、具体的には研修20単位相当量の研修受講による知識・技術を習得していることを確認し、スーパービジョン10単位相当量の実践力を得ていることの確認を行います。

【認定社会福祉士の定義】

社会福祉士及び介護福祉士法に定める相談援助を行う者であって、所属組織を中心とした分野における福祉課題に対し、倫理綱領に基づき高度な専門知識と熟練した技術を用いて個別支援、他職種連携及び地域福祉の増進を行うことができる能力を有することを認められた者をいい、次の各号に掲げる役割を果たす。

- (1) 複数の課題のあるケースの対応を担当する。
- (2) 職場内でリーダーシップをとる。実習指導など人材育成において指導的役割を担う。
- (3) 地域や外部機関との対応窓口となる（窓口として緊急対応、苦情対応などに関わる。）
- (4) 関連分野の知識をもって、他職種と連携する。職場内でのコーディネートを行う。組織外に対して自分の立場から発言ができる。

3. 特別研修の基本フレーム

- (1) 研修8単位分(12単位分は過去の研修履歴を評価)については、支援の開始から終結(もしくは事業の開始から終了)までのレポート提出を求め、共通専門及び分野専門の知識を確認します。
- (2) スーパービジョンについては、支援過程において重要と考える特定場面の出来事(逐語など)とその際の判断や推察を記述したレポートの提出を求め、専門的な技術や根拠をもって適切に判断・行動ができているかどうかを確認します。

4. 特別研修指定実施機関

公益社団法人 日本社会福祉士会

5. 受講対象者

特別研修は、当研修を修了することで認定社会福祉士の認定申請を行う予定がある者を対象に開催します。従って、受講要件は認定社会福祉士の認定要件と同様になります。具体的には次の事項をすべて満たすことが必要です。詳しくは認定社会福祉士認証・認定機構ホームページをご参照ください。

(認定社会福祉士認証・認定機構 HP:http://www.jacsw.or.jp/ninteikikou/contents/04_kojin/01_tetsuzuki.html)

- (1) 社会福祉士資格を有すること
- (2) 日本におけるソーシャルワーカーの職能団体で倫理綱領と懲戒の権能を持っている団体の正会員であること
- (3) 相談援助実務経験が5年以上あること (※)
- (4) 別に例示する実務経験があること (※)
- (5) 日本社会福祉士会もしくは日本医療社会福祉協会の生涯研修で180時間以上の研修を受講していること (日本社会福祉士会の場合は共通研修課程修了3回以上の方もしくは共通研修課程修了2回+専門分野別研修4単位の方、ただし共通研修課程修了は申請中を含む。日本医療社会福祉協会の場合は認定医療社会福祉士を取得している方。)

※ (3) 相談援助実務経験の範囲について

- ①厚生労働省通知で定めた指定施設機関及び職種
- ②その他、機構が認める指定施設機関及び職種
 - ・矯正施設における相談援助を行っている職員、社会復帰促進センターにおける相談員、家庭裁判所における調査官
 - ・一定の要件を満たす独立型社会福祉士事務所（日本社会福祉士会の独立型社会福祉士名簿登録者となります。名簿登録期間が実務経験期間となります。認定社会福祉士の認定申請時に日本社会福祉士会の証明が必要となります。今回の研修受講申込時は不要です。）

また、認定社会福祉士申請の要件と同様、社会福祉士資格取得後の実務経験で、かつ過去10年以内の実務経験が対象です。

※ (4) に関しては、認定社会福祉士の認定申請時に「実務経験内容」を提出いただきます（認定社会福祉士制度認定規則施行細則参照）。今回の研修受講申込時は不要です。

6. 定員

52名（先着順）

7. 集合研修日程及び会場

集合研修I 2015年10月3日（土）～4日（日） 全理連ビル（東京都渋谷区代々木1-36-4）

集合研修II 2015年11月15日（日） 東京都内を予定（未定）

8. 受講費

36,000円（事前振込）

9. 申込方法

所定の「受講申込書」に必要事項を記入の上、生涯研修修了単位にかかる職能団体の証明書（日本社会福祉士会会員の方は共通研修修了証明書、専門分野別研修については専門分野別研修の修了証、修了証明書もしくは認定証、日本医療社会福祉協会の会員の方は認定医療社会福祉士認定証）をそえて郵便またはFAXにてお申込みください。

10. 申込期間

2015年7月9日（木）必着。申込締切前でも定員となり次第、締め切れます。なお、申込者が少数の場合には研修を開催しないこともありますのでご了承ください。

11. 受講可否の連絡

受講可否連絡は、**8月上旬**頃に郵便にて発送します。課題レポート、会場案内、受講費の納入方法、懇親会、キャンセル等の扱いについては、受講可否の連絡時にご案内します。

12. 修了要件

集合研修への全出席、全レポート提出は必須です。そのうえでレポートの内容を評価し修了認定します。

13. 研修プログラム（予定）

自宅学習と集合研修を行います。次頁の研修プログラム（予定）をご参照ください。

14. 認定社会福祉士の認定申請

認定社会福祉士になるためには、別途、認定申請が必要です。申請受付期間は認定社会福祉士認証・認定機構のホームページ上の「個人認定について」でご確認ください。

(http://www.jacsw.or.jp/ninteikikou/contents/04_kojin/01_tetsuzuki.html)

15. 期間延長の対応

集合研修Ⅰ受講後、やむを得ず集合研修Ⅱ（自宅学習Ⅱ含む）の受講ができない場合は、次回開催する特別研修の集合研修Ⅱ（自宅学習Ⅱ含む）を受講することができます。費用は別途必要です。

16. 問合せ先／申込先

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-13 カタオカビル2F (公社) 日本社会福祉士会 担当：神園
TEL：03-3355-6541 FAX：03-3355-6543 E-mail：kamizono@jacsw.or.jp

■研修プログラム（予定）

| 区分 | 日程・会場 | 内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|---|----|----|-------------|-----------------|-------------|---|-------------|---|-------------|--|-------------|---|-------------|---|-------------|-------|-------------|---|-------------|----|
| 自宅学習 I | レポート締切 9月 11 日（金） | <p>レポートを作成・提出</p> <p>1)課題レポート 1 理論に関する事前学習レポート 「エコロジカルモデル（生態学的視点）」「システム理論」についての説明（各 800 字から 1000 字以内）</p> <p>2)課題レポート 2 「自身の実践支援の開始から終結までの展開過程」 (3,000 字程度)</p> <p>3)課題レポート 3 「自身の実践の特定場面における振り返り」 (字数制限無し)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 集合研修 I | 10月 3 日（土） ～4 日（日） <東京> | <p>1 日目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13:00～13:15</td><td>オリエンテーション 開会挨拶</td></tr> <tr> <td>13:15～16:15</td><td>講義「社会福祉実践における価値」 「知識と実践の融合」 講師：田中千枝子氏（日本福祉大学教授）</td></tr> <tr> <td>16:15～16:30</td><td>休憩</td></tr> <tr> <td>16:30～18:00</td><td>講義・演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：新保祐光氏（大正大学准教授）、添田正揮氏（川崎医療福祉大学講師）、田中千枝子氏、土谷長子氏（奈良学園大学准教授）</td></tr> </tbody> </table> <p>2 日目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9:30～12:00</td><td>演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：新保祐光氏、添田正揮氏、田中千枝子氏、 土谷長子氏</td></tr> <tr> <td>12:00～13:00</td><td>昼食・休憩</td></tr> <tr> <td>13:00～15:30</td><td>演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：新保祐光氏、添田正揮氏、田中千枝子氏、 土谷長子氏</td></tr> <tr> <td>15:30～15:40</td><td>閉会</td></tr> </tbody> </table> | 時間 | 内容 | 13:00～13:15 | オリエンテーション 開会挨拶 | 13:15～16:15 | 講義「社会福祉実践における価値」 「知識と実践の融合」 講師：田中千枝子氏（日本福祉大学教授） | 16:15～16:30 | 休憩 | 16:30～18:00 | 講義・演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：新保祐光氏（大正大学准教授）、添田正揮氏（川崎医療福祉大学講師）、田中千枝子氏、土谷長子氏（奈良学園大学准教授） | 時間 | 内容 | 9:30～12:00 | 演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：新保祐光氏、添田正揮氏、田中千枝子氏、 土谷長子氏 | 12:00～13:00 | 昼食・休憩 | 13:00～15:30 | 演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：新保祐光氏、添田正揮氏、田中千枝子氏、 土谷長子氏 | 15:30～15:40 | 閉会 |
| 時間 | 内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13:00～13:15 | オリエンテーション 開会挨拶 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13:15～16:15 | 講義「社会福祉実践における価値」 「知識と実践の融合」 講師：田中千枝子氏（日本福祉大学教授） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16:15～16:30 | 休憩 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16:30～18:00 | 講義・演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：新保祐光氏（大正大学准教授）、添田正揮氏（川崎医療福祉大学講師）、田中千枝子氏、土谷長子氏（奈良学園大学准教授） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 時間 | 内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9:30～12:00 | 演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：新保祐光氏、添田正揮氏、田中千枝子氏、 土谷長子氏 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12:00～13:00 | 昼食・休憩 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13:00～15:30 | 演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：新保祐光氏、添田正揮氏、田中千枝子氏、 土谷長子氏 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15:30～15:40 | 閉会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自宅学習 II | レポート締切 11月 5 日（木） | <p>レポート作成・提出</p> <p>課題レポート 4：「自身の実践の特定場面における振り返り ～集合研修 I をふまえて自身の実践を省察する～」</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 集合研修 II | 11月 15 日（日） <東京> | <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10:30～10:35</td><td>オリエンテーション・開会の挨拶</td></tr> <tr> <td>10:35～11:35</td><td>講義「集合研修 I の振り返り」 講師：田中千枝子氏</td></tr> <tr> <td>11:35～12:30</td><td>演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：新保祐光氏、田中千枝子氏、土谷長子氏、 渡辺裕一氏</td></tr> <tr> <td>12:30～13:15</td><td>昼食・休憩</td></tr> <tr> <td>13:15～16:40</td><td>演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：新保祐光氏、田中千枝子氏、土谷長子氏、 渡辺裕一氏</td></tr> <tr> <td>16:40～16:50</td><td>閉会</td></tr> </tbody> </table> | 時間 | 内容 | 10:30～10:35 | オリエンテーション・開会の挨拶 | 10:35～11:35 | 講義「集合研修 I の振り返り」 講師：田中千枝子氏 | 11:35～12:30 | 演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：新保祐光氏、田中千枝子氏、土谷長子氏、 渡辺裕一氏 | 12:30～13:15 | 昼食・休憩 | 13:15～16:40 | 演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：新保祐光氏、田中千枝子氏、土谷長子氏、 渡辺裕一氏 | 16:40～16:50 | 閉会 | | | | | | |
| 時間 | 内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10:30～10:35 | オリエンテーション・開会の挨拶 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10:35～11:35 | 講義「集合研修 I の振り返り」 講師：田中千枝子氏 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11:35～12:30 | 演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：新保祐光氏、田中千枝子氏、土谷長子氏、 渡辺裕一氏 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12:30～13:15 | 昼食・休憩 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13:15～16:40 | 演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：新保祐光氏、田中千枝子氏、土谷長子氏、 渡辺裕一氏 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16:40～16:50 | 閉会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |